

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都市健康づくり協会	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
----------------	---------------------------

基本事項			
所管局課	保健福祉局健康長寿のまち・ 京都推進室 健康長寿企画課	本市出えん金	50,000 千円
基本財産／資本金	50,000 千円	本市出えん率	100 %

1 「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」における「今後の方向性」

当欄では、「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」において、外郭団体としての位置づけを「存続」するか、外郭団体としての位置づけを外れて「自律化」「解散」するかのいずれの方向性を決定したかを記載している。

方向性	自律化	目標年度	平成30年度
本市の出えん率引下げに向けた実施計画			
取組内容	H30	H31	H32
	出えん率を低下させる手法を検討し実施する。	-	-

2 今後取組を進めるうえでの「基本的方針」

当欄では、「今後の方向性」の実現に向けて、各団体が業務面、財務面、組織面及びその他の各分野ごとに取り組むべき課題等について記載している。

業務面	<p>市民が安全で効果的な健康づくりを行えるよう、健康づくりの理論の確立及び実践のための環境整備に関する事業を行い、市民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とし、関連取組を推進している。</p> <p>そのため、健康づくりの専門職である健康運動指導士を中心に、地域の関係機関や筋トレボランティア等と連携しながら、地域へ出向いて健康づくり支援等に貢献し、地域ニーズに応じた健康づくりを推進したい。</p> <p>施設利用者の継続的な施設利用はもとより、利用者の増加につなげていくために、広報等の充実や、医療機関等との連携などによるフォローアップ体制の充実を図っていく。</p>
財務面	<p>近年、施設利用者が増加しており、そのような方々に継続的に利用いただくことで、安定した収益を確保していく。</p> <p>そのうえで、健康づくりに関する専門性をいかし、受託事業等の拡大や自主事業等の充実・強化による収益の拡大を図っていく。</p>
組織面	<p>組織体制の強化と、職員の資質向上を図るため、当協会の固有職員に対し、重要ポストへの着任を命じることや、協会内にてコンプライアンス研修などを行うことで、職員が自身の職責を認識し、責任感を持って職務を遂行する環境づくりを行う。</p> <p>また、アルバイト職員の採用等を適宜見直し、最適な人員配置を行う。</p>
その他	

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都市健康づくり協会	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
----------------	---------------------------

3 基本的方針を実現するための具体的取組(3年間の計画期間中における具体的取組)

- ① 「基本的方針」を実現するための具体的な取組を記載する。
- ② 取組ごとに、各年度の目標となる指標及び目標値を設定する。
- ③ 計画期間の最終年度(平成32年度)の目標値が中期経営計画全体の目標値となる。

(1)業務に関する取組

目標「利用者数の増加」						
取組内容	<p>高齢化が進む中、健康づくりに関する関心が高まってきたものの、健康づくりを習慣付けるに至らない利用者もいる。</p> <p>そこで、当協会において健康増進センターのジムやプール利用者への働きかけ、健康教室や地域に向いての健康づくり支援等の取組を行うことで、多くの方に健康づくりに取り組んでいただく。</p>					
○指標1	プール・ジム利用者数					
採用理由	当施設利用者の大部分を占める施設利用者数の指標であるため。					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：人/年)
	116,259	116,400	116,600	116,800	117,000	
実現方法	広報の充実、施設利用者や健康教室参加者への働きかけ					
○指標2	定期券販売枚数					
採用理由	継続的な施設利用に係る指標であるため。					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：枚/月)
	473	480	490	500	510	
実現方法	広報の充実、施設利用者や健康教室参加者への働きかけ					

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都市健康づくり協会	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
----------------	---------------------------

(2)財務に関する取組

目標「収益の拡大」						
取組内容	当協会の健康づくりにおける専門性をいかし、受託事業の拡大や自主事業の充実・強化により収益の拡大を図る。 そのため、利用者のニーズに応じた健康教室の実施や、一定数の利用者が見込まれる事業について、実施回数の拡大を図っていく。					
○指標	経常収益					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：千円)
	210,675	211,000	211,500	212,000	212,500	

(3)組織に関する取組

目標「職員の資質向上及び職員数の適正化」						
取組内容	今後、当協会の自律化に向け、同会固有職員による主体的な団体運営を行っていく。 団体運営に当たって執行体制を強化するため、職員の資質向上に係る職員研修を実施していく。また、人員体制の効率化に向け、業務内容のスクラップアンドビルドを行い、常勤職員数の適正化を図る。					
○指標1	職員研修の実施					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：回)
	20	23	24	25	26	
○指標2	常勤職員数					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：人)
	13	13	13	13	12	

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都市健康づくり協会	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
----------------	---------------------------

4 中期経営計画に対する意見

団体が作成した中期経営計画に対する、所管局の意見を記入します。

所管局	<p>近年、施設利用者が増加傾向にある中、協会の専門性をいかし、利用者の増加、収益拡大を図っていただきたい。</p> <p>また、協会の自律化を達成するため、収益の確保、職員の資質向上など組織の強化に取り組んでいただきたい。</p> <p>今後とも、条例や指定管理に係る協定に基づき、これまでの財政援助団体監査等の指摘にも十分対応し、適切な施設運営を徹底いただきたい。</p>
-----	--